

◎第4回理事会(39.9.25)出席者:福田会長,大石副会長,羽田専務理事,江口,春日屋,粕谷,嶋,鏡,樋浦,藤田,前沢,村上の各理事,武内監事。A.報告事項:つぎの各項について羽田専務理事から説明があり了承された:1)会計報告。2)刊行物頒布状況。3)各種委員会。4)その他。B.協議事項:1)図書館規定について。2)50周年事業総務委員会の経過ならびに表彰記念品について:永田委員長が出席され土木学会50周年記念事業総務委員会の中間報告により,詳細な説明があり,表彰および記念品,祝賀会出席者の会員,招待者,案内者などについて協議し原案通り承認。3)大学土木教育に関するシンポジウム開催について羽田専務理事・嶋理事より説明があり原案どおり承認した。4)米国土木学会より客員サービスの交換申請について羽田専務理事・福田会長より説明があり日本側の受入れ態勢を海外連絡委員会で検討してもらうことにした。5)土木学会業績賞について羽田専務理事・春日屋理事より説明があり,企画・調査研究担当理事で具体案を検討することになった。6)軽量骨材実験研究受託について:期間,経費,発表等の具体的な事項を調査のうえ次回に検討することにする。7)土木賞授与規定の改正について原案どおり承認。8)評議員会開催について。9)つぎのとおり委員の委嘱を行なった。

①耐震工学委員会

根来幸次郎氏退職のため

後任委員 松本繁樹氏(通産省公益事業局)

②文献調査委員会

中村繁之氏辞任のため

後任委員 塚田正弘氏(都交通局高速鉄道建設本部設計課)

矢部正宏氏辞任のため

後任委員 竹下周成氏(建設省土木研究所千葉支所)

◎各種委員会

(1) 水理委員会幹事会(39.8.25)出席者:石原委員長,ほか17名。議事:1)モスタートマン氏の講演会開催について。2)第1回夏期研修会決算について。3)第2回夏期研修会の計画。4)水理学研究に関する長期計画について。5)その他

(2) 水理委員会(39.7.26)出席者:石原委員長,ほか16名。議事:1)夏期研修会テキスト販売について。2)来年度

夏期研修会について。3)水文学小委員会の設置について。4)その他。

(3) 50周年記念事業総務委員会(39.8.26)出席者:永田委員長,滝山,西松両副委員長,ほか9名,羽田専務理事。議事:1)経過報告:a.募金の進捗状況について,b.その他について。2)今後の募金推進について。3)表彰および記念品について。4)その他。

(4) 土木図書館運営委員会幹事会(39.8.27)出席者:米元委員長,久野主査,千秋幹事長,ほか7名。議事:1)運営事務審議分科会審議結果の報告。2)分類整理方式審議結果の報告。3)洋書(単行本)整備計画案の作成。4)辞書,事典,データブック購入リストの審議。5)和書(単行本)購入リストの審議。6)土木図書館閉館について。

(5) 会誌編集委員会(39.8.31)出席者:八十島委員長,樋口副委員長,ほか18名。議事:1)原稿に関する報告。2)小委員会報告。3)会誌49巻11,12号特集号報告および討議。4)会誌50巻1号の特集案報告および討議。5)会誌50巻2号の特集計画案検討。6)その他。

(6) 出版企画委員会幹事会(39.9.1)出席者:森委員長,春日屋副委員長,嶋幹事長,ほか3名。議事:1)各委員会関係連絡について報告。2)土木賞の拡大と出版賞なるもの設置について。3)新規出版物について:①大鳥セミアーチダム工事報告書,②黒部川第四発電所工事報告書,③爆破(会誌講座)の再出版について,④川俣ダム工事報告書について,⑤新潟地震調査報告書について,⑥実験指導書シリーズについて,⑦わかりやすい土木講座の企画について。

(7) 文献調査委員会(39.9.2)出席者:高橋委員長,ほか17名。議事:1)49巻11号登載抄録について。2)委員の交代について。3)解説記事について。4)文献カード出版について。

(8) 土木図書館運営委員会(39.9.2)出席者:米元委員長,千秋幹事長,ほか13名。議事:1)運営事務審議分科会報告。2)分類整理方式審議分科会報告。3)幹事会報告:①国際会議論文集整備計画,②洋書単行本整備計画,③辞書,事典,叢書整備計画,④和書,単行本整備計画。4)委員会報告を会誌10月号へ登載の件。5)図書館閉館に関する件。

(9) 50周年記念事業総務小委員会(39.9.4)出席者:西松委員長,ほか4名。議事:1)50周年記念式典ならびに祝賀会への招待者の範囲について。2)記念品としての記念出版物の選定ならびに贈呈

先について。3)土木学会功勞者(感謝状を含む)について。4)その他。

(10) 会誌編集小委員会(39.9.4)出席者:樋口副委員長,ほか4名。議事:1)会誌49巻11号編集について:道路特集(高速道路を中心として)として編集する。2)その他。

(11) 出版企画委員会(39.9.8)出席者:森委員長,春日屋副委員長,嶋幹事長,ほか11名。議事:1)第3回幹事会報告。2)土木賞の拡大と業績賞について。3)新規出版物の進捗状況について。

(12) 高校土木教育研究委員会幹事会(39.9.10)出席者:幹事12名。議事:1)土質実験指導改訂について。2)今後の実験指導書の発刊について。3)「わかりやすい土木講座」発刊について。4)本年度の委員会運営について。5)その他。

(13) 50周年記念事業総務委員会(39.9.16)出席者:永田委員長,滝山,西松両副委員長,ほか9名。羽田専務理事。議事:1)表彰および記念品等に関する小委員会の報告。2)今後の募金推進について交渉の分担。3)永年勤続者の表彰について。

◎その他

(1) 水工学に関する夏期研修会

日時:昭和39年7月20日~39年8月1日

場所:京都大学

受講者:Aコース72名

Bコース42名

(2) 土木学会ゴルフ会打合会(39.8.25)出席者:関係者8名。議事:1)内海杯争奪戦のやり方について。2)第8回の開催地について。3)次期役員について。4)土木学会50周年記念ゴルフ会について。

(3) 土木系学生の会(39.9.3)出席者:中央大学,千葉工業大学,早稲田大学,関東学院大学,法政大学,東海大学より関係者17名。議事:学校際の問題点について。

(4) 土木系学生の会(39.9.15)出席者:法政大学,中央大学,関東学院大学,千葉工業大学,武蔵工業大学,日本大学,早稲田大学,芝浦工業大学より関係者15名。議事:1)学会誌原稿について。2)各大学学校祭準備について。

(5) 企画,調査研究,編集出版担当理事打合会(39.9.11)出席者:関係者6名。議事:1)他団体募集の賞,その他の運営方式について。2)土木学会業績賞(仮賞)の設置について。

支部だより

◎東北支部

(1) 会計監査(39.6.26)出席者:関係者3名。議事:昭和38年度会計出納簿ほか関係書類について監査を行なった。

(2) 支部総会(39.6.29, 仙台セントラルホテル)議事:1)38年度事業報告および決算報告(幹事長)。2)38年度会計監査(黒川弘喜氏)。3)38年度事業計画および収支予算説明(幹事長)。4)東北支部規定改正案について。5)東北支部役員改選,選出について。6)新支部長挨拶。7)懇親会。

(3) 支部長送別会(39.7.10, 仙台セントラルホテル)経過:1)富所幹事長の挨拶。後任支部長推挙。3)前支部長の挨拶。出席者:25名。

(4) 第50回総会会計監査(39.8.15, クロバー)出席者:関係者4名。

(5) 第50回総会収支決算報告会(39.8.17, 仙台セントラルホテル)経過:1)支部長挨拶。2)幹事長収支決算報告。3)会計監査報告。以上の報告を万場一致の承認を得て実行委員を解散す。出席者:34名。

◎関東支部

(1) 第2回幹事会(39.8.20, 土木学会)出席者:当山支部長, 堺幹事長ほか12名。議事:本部総会開催地の順序, 会

員増強対策, 行事担当割その他。

(2) 第3回幹事会(39.9.17, 土木学会)出席者:堺幹事長, ほか13名。議事:行事の具体的実施方法, 会員の慶弔についての取扱, その他。

(3) 東海道新幹線試乗見学会(39.9.10)

参加人員:880人
試乗区間:東京~小田原間往復

◎中部支部

(1) 年次総会および見学会(39.4.25)議事:岐阜県商工会議所において39年度支部年次総会, 午後伊吹山スカイライン見学会を行なった。参加者250名。

(2) 第1回役員会(39.5.23,24)議事:伊勢渡鹿野において役員会を開催, 翌日伊勢朝熊山スカイライン工事現場見学。参加者40名。

(3) 第1回見学会(39.6.5)見学場所:名神高速道路一宮インター, 小牧インターを見学, 参加者:100名。

(4) 特別講演会(39.6.9)
場所:愛知県産業貿易会館
講師:米国アイオワ大学教授サニー氏
演題:フォームドアスファルト舗装について

参加者:125名

(5) 講演会(39.7.25)
場所:愛知県産業貿易会館
講師:国鉄名古屋幹事工務局長 鈴木隆吉氏

演題:東海道新幹線建設工事をかえり見て

映画:新幹線建設工事記録
講師:中部地方建設局企画室長

安部清孝氏

演題:中部経済圏の道路網について
参加者:55名

(6) 東海道新幹線試乗会(39.8.31)
区間:名古屋~豊橋間往復

◎関西支部

(1) 第5回幹事会(39.9.18, 土木学会関西支部事務局)出席者:山崎支部長, 松尾幹事長, ほか14名。

◎中国四国支部

(1) 第7回幹事会(39.8.20, 水野組広島事業本部会議室)出席者:内田幹事長, ほか5名。議事:1)国鉄新幹線試乗について。2)須磨開発工事見学について。3)第16回支部学術講演会について。4)第1回講習会について。5)その他。

(2) 第3回講演会(39.9.14)
場所:水野組広島事業本部大会議室
講師:金井修氏
演題:新潟地震について
参加者:113名

(3) 第3回見学会(39.9.18)
見学先:神戸市埋立事業局 西部埋立工事(神戸市須磨区高倉町)
参加者:25名
説明者:神戸市埋立事業局 吉田健氏

編集後記

待望の東京オリンピックも終って, 何となくほっとした気分になったのは土木関係者の大部分の感想ではないでしょうか。新幹線, 各種道路, 区画整理事業等々と, ここ数年にわたって, 工期に追われ続けて来た土木工事の担当者は, 疲れが出て, むしろがっかりした気分かも知れません。しかし, 今日の日本の実力からすれば, オリンピック工事など大したものではなく, これからますます大量の建設計画を前にも増したスピードでこなして行くことが必要のようです。

ところで, 本号は高速道路特集号ということになり, 関係方面の最高

担当者の方々の論文を集めることができました。わが国の道路の輸送力の乏しいことは, 産業の発展とともに次第に明らかとなり, 今や日本経済の死命を制するとまで考えられるようになりました。世界的規模を誇る企業でも, 裏口の私設港には数万吨の船がゆうゆうと接岸できるのに, 玄関口の陸上側は大型トラックの出入にも事欠く, といった風景は, 工業地帯でざらに見られる風景です。高速道路の早急な建設こそ, 生活水準向上のための第1歩であるはずだ。

久しく続いて好評を得た「電子計算機の常識」は, 12月号をもちまして終了することになりました。近く

最近, 話題になっている「シールド工法」について, 実用講座が始まりますのでご期待下さい。都市内の通勤輸送の解決は地下鉄をおいて考えられないし, その地下鉄工事は, 今日ではシールド工法なくしては完成できないといっても過言でないでしょう。

編集委員会も新交代メンバーを加えてから第3冊目の学会誌を出すことになったわけで, 皆様からのご意見, ご希望などを大いに取り入れて, 今後の編集活動に反映して行きたいと思っておりますので, よろしくご鞭撻のほどお願いいたします。

(中村・記)

昭和39年度土木学会誌編集委員

委員長	八十島 義之助		副委員長	樋口 芳朗		*印は幹事兼務	
委員	天野 礼二	浅谷 陽治	茨木 竜雄	上田 勝基	遠藤 篤康	大久保 喜市	小坂 忠
	菊川 哲士	齋木 三郎*	渋谷 祥夫*	城野 忠雄	高橋 裕	立石 俊一	玉木 勉
	土屋 昭	寺尾 英二	原田 信昭	豊島 修	南部 繁春	中村 正平	町田 富士夫
	湯 浅 昭						
地方委員	(北海道支部) 菅原 照雄 河野 文弘	(東北支部) 三浦 晃 阿部 泰夫	(関東支部) 渡 辺 健	(中部支部) 酒井 清太郎 増田 重臣	(関西支部) 赤尾 親助 畑 中元 弘	(中四支部) 門田 博知 玉井 敏一	(西部支部) 小坪 清真 長友 文昭

会員入退会について(昭和39.9.1~9.30)

入会	187名(正131 学55 特1.C 1)
復活	3名(正2 特1.D 1)
退会	19名(正17 学2)
死亡	5名(正)
転格	12名 学→正6 正→学4 特1.A→特級 特1.C→特1.B

特別会員入退会

○入会	昭和39.9.17	特1.C	阪神高速道路公団	大阪市東区瓦町5丁目71(瓦町ビル内)
○復活	昭和39.9.8	特1.D	日本曹達KK二本木工場コンクリート試験室	新潟県中頸城郡中郷村藤沢950
○転格	昭和39.9.30	特1.A→特級	鉄建建設KK	東京都千代田区神田三崎町2-6
	" 9.28	特1.C→特1.B	日曹マスタービルダーズKK	東京都港区赤坂丹後町10エンバイヤビル
○退会	昭和39.9.3	特1.C	光祥建設工業KK	東京都中央区築地3-4 金屋ビル
	" 9.17	"	KK中野工務店	横浜市鶴見区鶴見町857
	" 9.30	特1.D	建設省関東地方建設局江戸川工事事務所	野田市宮崎134
	" "	"	磯部塗装KK	東京都港区芝三田四国町2番地-18

会員現在数

名誉	正員	学生会員	賛助	特級	特1.A	特1.B	特1.C	特1.D	特2	合計	(増)
57	15931	2321	38	18	15	49	232	352	39	19043	(166)

正会員	川口 愛太郎 君	多根病院顧問	昭和39.5.5	死去	83才
"	三島 修 蔵 君	岡崎工業KK	" 39.7.30	"	72才
"	楠 仙之助 君	飛島土木KK顧問	" 39.9.19	"	64才
"	柴原 孝太郎 君	建設省河川局河川計画課長	" 39.9.20	"	47才
"	高木 滋 君	農林省岩手山麓開拓建設事業所	" 39.8	"	41才

支部所在地

北海道支部	札幌市平岸 北海道開発局土木試験所内(電 札幌 83-4161)
東北支部	仙台市北三番丁124 建設省東北地方建設局企画室内(電 仙台 22-4191)
関東支部	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課内(電 東京 351-5138)
中部支部	名古屋市中区南外堀町6の1 名古屋市土木局道路建設課内(電 名古屋 94-5511)
関西支部	大阪市天王寺区堀越町110 天王寺ステーションビル4階(電 大阪 716-7881 内33)
中国四国支部	広島市八丁堀122 KK水野組内(電 広島 21-5131)
西部支部	福岡市渡辺通り2丁目 九州電力KK土木部内(電 福岡 76-3031)

昭和39年11月10日印刷	昭和39年11月15日発行	土木学会誌 第49巻 第11号
印刷者 大沼正吉	印刷所 株式会社技報堂	東京都港区赤坂溜池5番地
口絵製版印刷者 若林孟夫	印刷所 若林原色写真工芸社	東京都港区芝金杉川口町20番地
発行者 羽田 巖	発行所 社団法人土木学会	東京都新宿区四谷一丁目
定価 200円(送料20円)	振替 東京 16828番	電話 (351) 5130・5138・5139番

トラフィカビリチーの測定について

土木工事の機械化、農業構造改善事業の進展に伴い各地で多数の大型作業機械が使用されておりますが、これらの作業機械が未知の地表を通行する場合において交通が許容されるかどうかが重大な問題となります。

諸外国一特に米国一では現在 W.E.S. と Corps of Engineers で体係づけられているコーンの貫入測定による判定法と、車輛開発関係研究所等で行なわれている剪断力測定による判定法とに理論的研究が大別されているようです。

トラフィカビリチー判定用の貫入コーンは普通の W.E.S 型コーン・ペネトロメーターとは異なり、円錐形貫入体は頂角 30° 、円錐の基礎面積 3.23cm^2 が使用されております。これを使用して、未通過地の貫入抵抗値を測り、この値と、こね返えされた状態のときの指数により、最終的な通行可否の判断値、定格円錐指数 (Rating Cone Index) を得るものです。

この定格円錐指数は自然土上を車輛が50回通過したときのコーン指数を表わすものとされています。

この他に車輛については、その機能上より算出される車輛円錐指数 (Mobility Cone Index) があり、この車輛円錐指数を上廻る定格円錐指数が得られ、ば車輛の通行は可能であると判断されます。即ち

通行可能の条件として：

定格円錐指数 > 車輛円錐指数

であり、両指数が等しい場合が最低の状態と云うことになります。

貫入測定深さは：一般の車輛については $6\text{in} \sim 12\text{in}$ 、軽車輛では $3\text{in} \sim 9\text{in}$ 、重車輛の場合は $9\text{in} \sim 15\text{in}$ の深さを測定することによって判断ができるようです。

トラフィカビリチーの測定器

現在車輛の通行可否の判定用貫入試験器としましては次の機種が挙げられますそのうち第3番目の測定器は新製品でございますので次号で御紹介致します。

1. トラフィカビリチー試験装置 S 65

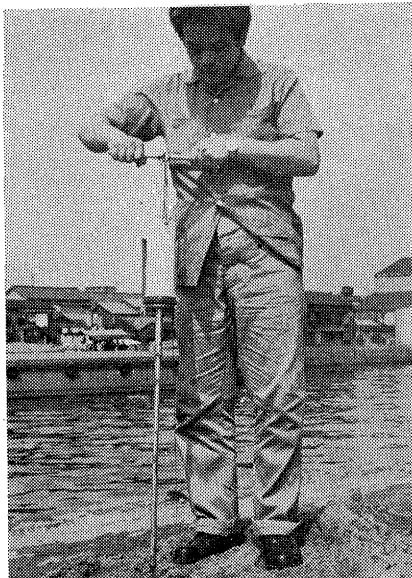
構成：コーン・ペネトロメーター (トラフィカビリチー用)

シンウォール・サンプラー 1式 練り返し装置 1式

2. 施工管理用ペネトロメーター S 44 R

3. 土質常数測定器 SH-36 (新製品) 貫入量～貫入力自記式 (写真参照)

本体重量約 3kg 、格納箱一式では約 9kg の重量になります。



〔自記式トラフィカビリチー判定器〕
土質常数測定器 SH-36 使用中のところ

土誌
VOL. 49.11



試験機紹介のページ

株式会社
丸東製作所

TEL
東京
(641)
2661
7749
8735
1090

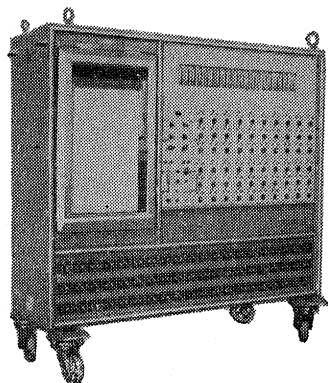
お問い合わせ先：東京都江東区深川白河町2の7 株式会社 丸東製作所 営業部
京都出張所：京都市中京区千生西土居の内町3番地の1 TEL: 京都84-7992

■ あらゆるタワミの測定は ■



東洋測器の

自動撓み記録装置



■ 多点自動歪記録装置兼用 ■
 ■ 測定点 30点 ■ 撓み量 40mmまで各種 ■

歪計応用 営業品目

■ 抵抗線歪計及同用計器 ■ 電子管自動平衡計器
 ■ 多点自動歪記録装置 ■ クレーン荷重計
 ■ テンシロン ■ バイブロン ■ フリクトロン
 ■ 歪計式変換器
 荷重計・圧力計・トルクメーター・加速度計
 撓み計・テンションメーター・土圧計・波圧計
 ペタル踏力計・操舵力操舵角計・切梁応力計



躍進する歪計の

東洋測器株式会社

東京都大田区調布横町1丁目104番地 電話 東京 (751) 5145番(代)
 日吉工場 横浜市港北区日吉町2143 電(0446) 2776(代)
 大阪営業所 大阪市北区老松町3ノ23 電(361) 4744
 名古屋営業所 名古屋市中区西瓦町59 電(24) 1825(直)
 福岡営業所 福岡市中島町72(東京堂ビル3階) 電(福岡2) 5638代

建設技術者多年の夢を実現!

メサライトコンクリートを建築物
 橋梁に用いると、次のような大き
 な経済的效果を示します

1. 鋼材料や、基礎・仮設諸工事費が節約で
 きます。
2. 大スパン建築物を経済的に構築できます
3. プレキャスト部材の運搬費、架橋手間が
 安価となります。
4. 断熱性に富むため、暖冷房設備費、運転
 費を軽減できます。
5. 橋梁建設では、支間60mの場合、桁高を
 20%も低くでき、また桁高を同一にする
 と支間を20%伸ばせます。
6. 鋼橋、超大支間吊橋の床版コンクリート
 などに用いた場合の経済的效果は一層大
 くなります。

人工軽量砂利
 人工軽量砂

メサライト

カタログ贈呈



三井金属

本社(商務第2部)
 東京都中央区日本橋室町2の1三井ビル内
 電話 東京 (241) 4101~9・2371~9

支店
 大阪・名古屋・福岡
 札幌・広島・仙台・富山